

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年4月14日(2016.4.14)

【公開番号】特開2015-233337(P2015-233337A)

【公開日】平成27年12月24日(2015.12.24)

【年通号数】公開・登録公報2015-081

【出願番号】特願2015-164053(P2015-164053)

【国際特許分類】

H 04 N 7/15 (2006.01)

H 04 N 21/233 (2011.01)

【F I】

H 04 N 7/15 6 1 0

H 04 N 21/233

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月23日(2016.2.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、参加者の発言を音声出力と文字出力を用いて提示する際に、参加者の発言に
関して音声出力と文字出力を分かりやすく切り替える会議システムを提供することを目的
とする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、本発明は、参加者の発言を文字出力を用いて提示する際に、文字情報に変換され
た発話を分かりやすく画面上に提示する会議システムを提供することを目的とする

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、クライアント装置とネットワークを介して通信可能であり、前記クライアント装置から送信された音声データを会議参加中の他のクライアント装置に音声および文字として出力させる会議サーバであって、前記クライアント装置から送信された音声データを受け付ける音声受付手段と、前記受け付けた音声データを前記会議参加中のクライアント装置に音声として出力させる権限である音声出力権限を、該音声データの発声状況に基づき、前記クライアント装置に対して付与し、解除すると判定するまで該音声出力権限を付与し続ける音声出力権限付与手段と、前記受け付けた音声データを前記会議参加中のクライアント装置に文字として出力させる権限である文字出力権限を、該音声データの発声

状況に基づき、前記クライアント装置に対して付与し、解除すると判定するまで該文字出力権限を付与し続ける文字出力権限付与手段と、を有し、前記音声出力権限付与手段は、前記音声データの発声状況に基づき前記音声出力権限を付与可能な状況であっても、前記文字出力権限が付与されているクライアント装置には前記音声出力権限を付与しないことを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

クライアント装置とネットワークを介して通信可能であり、前記クライアント装置から送信された音声データを会議参加中の他のクライアント装置に音声および文字として出力させる会議サーバであって、

前記クライアント装置から送信された音声データを受け付ける音声受付手段と、前記受け付けた音声データを前記会議参加中のクライアント装置に音声として出力させる権限である音声出力権限を、該音声データの発声状況に基づき、前記クライアント装置に対して付与し、解除すると判定するまで該音声出力権限を付与し続ける音声出力権限付与手段と、

前記受け付けた音声データを前記会議参加中のクライアント装置に文字として出力させる権限である文字出力権限を、該音声データの発声状況に基づき、前記クライアント装置に対して付与し、解除すると判定するまで該文字出力権限を付与し続ける文字出力権限付与手段と、

を有し、

前記音声出力権限付与手段は、前記音声データの発声状況に基づき前記音声出力権限を付与可能な状況であっても、前記文字出力権限が付与されているクライアント装置には前記音声出力権限を付与しないことを特徴とする会議サーバ。

【請求項2】

前記音声出力権限付与手段は、前記クライアント装置に付与された音声出力権限を解除する条件として、前記音声データの発声がない時間間隔にて判定することを特徴とする請求項1に記載の会議サーバ。

【請求項3】

前記文字出力権限付与手段は、前記クライアント装置に付与された文字出力権限を解除する条件として、前記音声データの発声がない時間間隔にて判定することを特徴とする請求項1または請求項2に記載の会議サーバ。

【請求項4】

前記音声出力権限付与手段は、前記クライアント装置に付与された音声出力権限を解除する条件として、前記音声データに含まれる発言の終了を意味するキーワードにて判定することを特徴とする請求項1乃至請求項3のいずれか1項に記載の会議サーバ。

【請求項5】

前記文字出力権限付与手段は、前記クライアント装置に付与された文字出力権限を解除する条件として、前記音声データに含まれる発言の終了を意味するキーワードにて判定することを特徴とする請求項1乃至請求項4のいずれか1項に記載の会議サーバ。

【請求項6】

前記クライアント装置から送信された画像データを受け付ける画像受付手段と、

前記画像受付手段により受け付けた画像データを、前記クライアント装置に対応付けて画像データ記憶手段に登録する画像データ登録手段と、

前記画像データ記憶手段に記憶された画像データと、前記文字出力権限が付与されたクライアント装置に対する文字データを該クライアント装置に対する前記画像データと対応付けて表示する文字出力画像データとを、前記会議参加中のクライアント装置に送信する全体画像データに合成する画像合成手段と、

を有することを特徴とする請求項1乃至請求項5のいずれか1項に記載の会議サーバ。

【請求項7】

前記画像合成手段は、前記文字出力権限が付与されたクライアント装置に対する前記画像データを表示しない場合、該クライアント装置に対する前記文字データを文字表示領域である文字発話枠に表示する文字発話枠画像データとして全体画像データに合成することを特徴とする請求項6に記載の会議サーバ。

【請求項8】

前記クライアント装置に対して、前記文字データを前記文字発話枠に表示させるか否か、を発話枠表示フラグの値として記憶する文字表示設定記憶手段を有し、

前記画像合成手段は、前記発話枠表示フラグが前記クライアント装置に対して前記文字データを前記文字発話枠に表示すると設定されている場合、前記クライアント装置に対する前記画像データを表示する場合であっても、前記クライアント装置に対する前記文字データを前記文字発話枠に表示する文字発話枠画像データとして全体画像データに合成することを特徴とする請求項7に記載の会議サーバ。

【請求項9】

前記文字表示設定記憶手段は、更に、前記文字データを前記クライアント装置に対する画像データに対応付けて表示するか否か、を参加者発話表示フラグの値として記憶するものであって、

前記画像合成手段は、前記発話枠表示フラグが前記クライアント装置に対して前記文字データを前記文字発話枠に表示すると設定されていない場合であって、前記参加者発話表示フラグが前記クライアント装置に対する画像データに対応付けて表示すると設定されている場合に、前記クライアント装置に対する前記画像データを表示するならば前記文字データを該クライアント装置に対する該画像データと対応付けて表示する文字出力画像データとして、また一方、前記クライアント装置に対する前記画像データを表示しないならば前記文字データを前記文字発話枠に表示する文字発話枠画像データとして、全体画像データに合成することを特徴とする請求項8に記載の会議サーバ。

【請求項10】

クライアント装置と、前記クライアント装置から送信された音声データを会議参加中の他のクライアント装置に音声および文字として出力させる会議サーバとが、ネットワークを介して通信可能な会議システムであって、

前記クライアント装置は、

入力された音声データを前記会議サーバに送信する音声データ送信手段を有し、

前記会議サーバは、

前記クライアント装置から送信された音声データを受け付ける音声受付手段と、前記受け付けた音声データを前記会議参加中のクライアント装置に音声として出力させる権限である音声出力権限を、該音声データの発声状況に基づき、前記クライアント装置に対して付与し、解除すると判定するまで該音声出力権限を付与し続ける音声出力権限付与手段と、

前記受け付けた音声データを前記会議参加中のクライアント装置に文字として出力させる権限である文字出力権限を、該音声データの発声状況に基づき、前記クライアント装置に対して付与し、解除すると判定するまで該文字出力権限を付与し続ける文字出力権限付

与手段と、

を有し、

前記音声出力権限付与手段は、前記音声データの発声状況に基づき前記音声出力権限を付与可能な状況であっても、前記文字出力権限が付与されているクライアント装置には前記音声出力権限を付与しない

ことを特徴とする会議システム。

【請求項 1 1】

クライアント装置とネットワークを介して通信可能であり、前記クライアント装置から送信された音声データを会議参加中の他のクライアント装置に音声および文字として出力させる会議サーバの制御方法であって、

音声受付手段が、前記クライアント装置から送信された音声データを受け付ける音声受付ステップと、

音声出力権限付与手段が、前記受け付けた音声データを前記会議参加中のクライアント装置に音声として出力させる権限である音声出力権限を、該音声データの発声状況に基づき、前記クライアント装置に対して付与し、解除すると判定するまで該音声出力権限を付与し続ける音声出力権限付与ステップと、

文字出力権限付与手段が、前記受け付けた音声データを前記会議参加中のクライアント装置に文字として出力させる権限である文字出力権限を、該音声データの発声状況に基づき、前記クライアント装置に対して付与し、解除すると判定するまで該文字出力権限を付与し続ける文字出力権限付与ステップと、

を有し、

前記音声出力権限付与ステップは、前記音声データの発声状況に基づき前記音声出力権限を付与可能な状況であっても、前記文字出力権限が付与されているクライアント装置には前記音声出力権限を付与しない

ことを特徴とする会議サーバの制御方法。

【請求項 1 2】

クライアント装置と、前記クライアント装置から送信された音声データを会議参加中の他のクライアント装置に音声および文字として出力させる会議サーバとが、ネットワークを介して通信可能な会議システムの制御方法であって、

前記クライアント装置は、

音声データ送信手段が、入力された音声データを前記会議サーバに送信する音声データ送信ステップ

を有し、

前記会議サーバは、

音声受付手段が、前記クライアント装置から送信された音声データを受け付ける音声受付ステップと、

音声出力権限付与手段が、前記受け付けた音声データを前記会議参加中のクライアント装置に音声として出力させる権限である音声出力権限を、該音声データの発声状況に基づき、前記クライアント装置に対して付与し、解除すると判定するまで該音声出力権限を付与し続ける音声出力権限付与ステップと、

文字出力権限付与手段が、前記受け付けた音声データを前記会議参加中のクライアント装置に文字として出力させる権限である文字出力権限を、該音声データの発声状況に基づき、前記クライアント装置に対して付与し、解除すると判定するまで該文字出力権限を付与し続ける文字出力権限付与ステップと、

を有し、

前記音声出力権限付与ステップは、前記音声データの発声状況に基づき前記音声出力権限を付与可能な状況であっても、前記文字出力権限が付与されているクライアント装置には前記音声出力権限を付与しない

ことを特徴とする会議システムの制御方法。

【請求項 1 3】

クライアント装置とネットワークを介して通信可能であり、前記クライアント装置から送信された音声データを会議参加中の他のクライアント装置に音声および文字として出力させる会議サーバにおいて実行可能なプログラムであって、

前記会議サーバを、

前記クライアント装置から送信された音声データを受け付ける音声受付手段、

前記受け付けた音声データを前記会議参加中のクライアント装置に音声として出力させる権限である音声出力権限を、該音声データの発声状況に基づき、前記クライアント装置に対して付与し、解除すると判定するまで該音声出力権限を付与し続ける音声出力権限付与手段、

前記受け付けた音声データを前記会議参加中のクライアント装置に文字として出力させる権限である文字出力権限を、該音声データの発声状況に基づき、前記クライアント装置に対して付与し、解除すると判定するまで該文字出力権限を付与し続ける文字出力権限付与手段、

として機能させ、

前記音声出力権限付与手段は、前記音声データの発声状況に基づき前記音声出力権限を付与可能な状況であっても、前記文字出力権限が付与されているクライアント装置には前記音声出力権限を付与しない

ことを特徴とするプログラム。

【請求項 1 4】

クライアント装置と、前記クライアント装置から送信された音声データを会議参加中の他のクライアント装置に音声および文字として出力させる会議サーバとが、ネットワークを介して通信可能な会議システムにおいて実行可能なプログラムであって、

前記クライアント装置は、

入力された音声データを前記会議サーバに送信する音声データ送信手段を有し、

前記会議サーバは、

前記クライアント装置から送信された音声データを受け付ける音声受付手段と、

前記受け付けた音声データを前記会議参加中のクライアント装置に音声として出力させる権限である音声出力権限を、該音声データの発声状況に基づき、前記クライアント装置に対して付与し、解除すると判定するまで該音声出力権限を付与し続ける音声出力権限付与手段と、

前記受け付けた音声データを前記会議参加中のクライアント装置に文字として出力させる権限である文字出力権限を、該音声データの発声状況に基づき、前記クライアント装置に対して付与し、解除すると判定するまで該文字出力権限を付与し続ける文字出力権限付与手段と、

を有し、

前記音声出力権限付与手段は、前記音声データの発声状況に基づき前記音声出力権限を付与可能な状況であっても、前記文字出力権限が付与されているクライアント装置には前記音声出力権限を付与しない

ことを特徴とするプログラム。